

問4) 雇用して良かったことと困ったことは？

No.	障がい種別	業種	雇用して良かったこと	雇用して困ったこと
1	知的	卸小売業	障がい者でも勤務可能な職種があることが判明したこと	特になし
2	知的	サービス業	社内間での思いやり	
3	知的	製造業	色々な意味で勉強になっています	たくさんあり書ききれません
4	知的	サービス業	障がいのある人への支援が広がった	
5	知的・身体	建設関連業	単純作業に関しては確実にこなす	高齢化し、作業効率が落ちてきた時に簡単に解雇できない事
6	知的・身体	サービス業	健常者の目が温かくなった。同じ仲間として受け入れている。差別しない	車イスでの社内への移動、トイレ
7	知的・身体	製造業	熱心に集中して仕事をこなす	単純作業に限られる
8	知的・身体	卸小売業	法的に必要な人数へカウントが可能	仕事内容の理解が低くトラブルもあるが、雇い止めが困難である
9	身体	製造業		コミュニケーションがよく取れない
10	身体	製造業	真面目に仕事に取り組んでいる	ない
11	身体	サービス業	社会貢献になる	聴覚障がいのためコミュニケーションがとりにくい
12	身体	建設関連業	勤務態度が真面目で、誠意を持って業務に従事	特にありません
13	身体	サービス業	別になし	電話の対応ができない
14	身体	サービス業	通常業務をこなしてもらっています	なし
15	身体	サービス業	新事業が出来る	視覚の状況で出来ないことがあるのでスタッフの協力が必要
16	身体	製造業	採用して未だ1ヶ月の為、未知数である	今のところはない
17	身体・精神	卸小売業	まじめである	特になし
18	身体・精神		健常者の意識の向上	ない
19	精神		障害者雇用助成金の支給	なし
20	精神	建設関連業	経営者側が非常にきたえられる	たくさんあるが問題が起きた時に解決していつてます
21	精神		事務所に当事者の人たちの机も置き、対等な関係で、雰囲気良くなり考え方も変わった	目に見えないことに気づかない特徴があること

問5) 障がい者雇用に踏み切れない理由は？

理由	構成比
業種的に無理	28.2%
障がいの有無に関わらず追加雇用は無理	23.1%
障がい者に適した業務がない	20.5%
安全面の不安	15.4%
少人数なので	7.7%
教育・指導に自信が持てない	2.6%
特に理由はない	2.6%
計	100.0%

問6) 今後、障がい者雇用を考えていますか

図6. 今後、障がい者雇用を考えていますか

